

- 【図書名等】 事業場内メンタルヘルス推進担当者 必携
 コードNo.26265 第5版 定価1,650円（本体1,500円＋税10%）
 （コードNo. および定価は現行どおりです。）
 表紙の色：オレンジ→ピンク
- 【発行日】 令和3年11月30日
- 【改訂のあらまし】

改訂のあらまし	該当頁
平成31年2月第4版発行後の、最新の法令・知見等に対応して内容、レイアウトおよび図表を見直すなどの変更を行った。	
第1章 メンタルヘルスケアの意義	
・第1章を新規内容に差替え。	7～23
・「表1-2 高度情報化、グローバル化がもたらした職場環境の変化」を追加。	9
・「表1-4 指針の構成」を追加。	18
・「表1-5 職場のパワーハラスメントの6類型」、「表1-6 事業主が雇用管理上講ずべき措置」を追加。	19
・「表1-7 事例性」を追加。	22
・前回版「表1-3 働き方改革関連法による主な改正点」を削除。	
第2章 メンタルヘルスと企業のリスクマネジメント	
・「2(4) 労働施策総合推進法とハラスメント防止対策」の解説内容を差替え。	28
・「2(5) 働き方改革の推進と健康管理」にテレワーク導入の動きについて解説を追加。	28～30
・「表2-1 職場におけるハラスメント防止対策の強化」を追加。	29
・「2(6) 判例・事例から見る労働者の健康に関する事業者の責務」を追加。	30
・「表2-2 民事上の個別労働紛争『主な相談内容別の件数推移（10年間）』」、「表2-3 マスコミ等に取り上げられた最近のパワーハラスメント問題事例」を追加。	31
・「4 精神障害等の労災認定」、解説内容を差替え。	33～40
・「表2-4 『心理的負荷による精神障害の労災認定』の改正」、「表2-5 『脳・心臓疾患の労災認定の基準の改正』の背景と改正のポイント」を追加。	35、36
・「図2-1 精神障害にかかる労災請求・決定件数の推移」、「表2-6 精神障害等の出来事別決定及び支給決定件数一覧」の内容を更新。	36、38
・コラム「職場のハラスメント 防止対策の進め方」を削除。	
第3章 ストレス及びメンタルヘルスケアに関する基礎知識	
・「表3-1 さまざまな心理的ストレス要因」、「図3-2 ストレスに対する反応」の内容を修正。	46、47
・「3(1) セルフケア」、「3(2) ラインによるケア」にテレワーク下のコミュニケーション等の解説を追加。	55～61
第5章 職場環境等の把握と改善の方法	
・「図5-1 仕事のストレス判定図の使用法」を一部修正。	86
・「表5-1 職業性ストレス簡易調査票（現行版）と新職業性ストレス簡易調査票（新版）の尺度」を一部修正。	88
・「表5-2 職場環境改善の主導型別の特徴、メリット、デメリットの比較」を一部修正。	90
・コラム「コロナ禍での職場環境改善」を追加。	99
第6章 メンタルヘルス不調への気づきと対応	
・「3(1) 精神疾患の分類」、ICD-11に関する解説を一部差替え。	109
・「3(7)ア 自閉症スペクトラム障害（ASD）」、「3(7)イ 注意欠陥・多動性障害（ADHD）」、強	119～121

いこだわりや多動性等について、解説を一部差替え。	
・「3(10) 統合失調症」、解説内容を差替え。	122～123
・「5(1) 自殺の実態」、自殺者数の推移について、解説内容を更新。	124
・「図 6-1 自殺者数の年次推移」、「図 6-2 年齢階級別自殺死亡率の年次推移」の内容を更新。	125
第7章 職場復帰における支援の進め方	
・「図 7-1 職場復帰支援の流れ」を一部修正。	131
・「図 7-2 生活記録表の例」を追加。	134
・「5(8) 働き方の変化と職場復帰支援」を追加。	144～145
別添資料	
・「別添資料 9 事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」を追加。	237～247
・「別添資料 10 テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン（抄）」を追加。	248～253
	以上